

平成26年6月27日

宮城県公立小中学校校長様
仙台市立小中学校校長様
宮城教育大学附属小中学校様
宮城県内私立小中学校校長様

国立大学法人東北大学工学部
工学部長 金井 浩
(公印省略)

東北大学・カタールサイエンスキャンパス・キックオフ教育セミナー開催について
(案内)

向暑の候、貴職におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃より、『東北大学・カタールサイエンスキャンパス(以下QSC)』プロジェクトについてご理解・ご支援を賜り厚く感謝申し上げます。

さて、かねてご案内の通り 中東カタール国の復興支援事業「カタールフレンド基金」の採択を受け整備を進めてまいりましたQSCホール及び付属施設がいよいよ竣工の運びになり、本学のオープンキャンパスに時機を同じくしキックオフを迎えることになりました。

つきましては、本プロジェクトの実施予定プログラムと施設の紹介を兼ね、下記のとおり教育セミナーを開催いたします。貴職下教職員の皆様のご参加についてご高配を賜りますようご案内申し上げます。

記

- | | | |
|---|-------|---|
| 1 | 日 時 | 平成26年7月31日(木) 13:30~16:00 |
| 2 | 開催場所 | カタールカタールサイエンスキャンパスホール
東北大学青葉山キャンパス中央: 仙台市青葉区荒巻字青葉6番6号 |
| 3 | 内 容 | 12:30~ 子ども科学キャンパス・オープンキャンパス研究室見学(任意)
13:30~ 受付
13:45~ セミナー開講式
・東北大学・QSCプロジェクト紹介
14:00~ 講演・質疑
・演題 『学習心理学からみた理科教育の課題』
・講師 東北大学教育学部教授 工藤 与志文 先生
15:00~ 先端ものづくりセミナー
・3Dスキャナー, 3D CAD, 3Dプリンターの説明・実演
・精密加工機械 5軸マシニングセンタの説明・実演 |
| 4 | 対象・人数 | 小中学校教職員40名(先着順) |
| 5 | 申込み方法 | ファクス(裏面様式)で 7月22日(火)まで申し込みください。申し込みされた方の受講の可否についてファクスまたはEメールで連絡いたします。 |
| 6 | そ の 他 | 駐車場の準備はありません。当日は東北大学オープンキャンパス開催のため、各キャンパス間に無料シャトルバスも運行されています。 |
| 7 | 問い合わせ | 東北大学工学研究科工学教育院 サイエンスコーディネーター 石垣
電話 022(795)5047 Email qsc@eng.tohoku.ac.jp |

■講師紹介

東北大学大学院教育学研究科・教育学部教授 工藤与志文（くどうよしふみ）先生

- ・担当分野 教育心理学
- ・担当コース 教育心理学コース（学部） 教授学習科学研究コース（大学院）
- ・研究内容 授業における学力形成の問題に関する心理学的研究

「授業で教わってもわからない、授業で学んでも使えない」という話はよく耳にします。どうして「わからない」「使えない」のでしょうか。どうしたら「わかる」「使える」ようになるのでしょうか。このような授業における学力形成の問題について、心理学の立場から研究しています。特に、学習者の認知・思考・推論のあり方が科学的概念の形成に及ぼす影響、および学習者の心理的特質を考慮した教授法の開発に強い興味を持って研究を進めています。

- ・主要業績
 - ルール学習における知識表象の不十分な抽象化とその問題
 - 種子植物の生殖ルールの適用をいかに促すか —「花と実の類似性」教授の効果—
 - 理科授業における子どもの認識とそれに関する教師の認識とのずれについて
 - 小5「電流が生み出す力」における事例から学ぶ—
 - 理科学習における「発見的推論」に対する教員志望学生の評価について
 - 学習者のもつ「素朴概念」と概念変化をうながす教授方略
 - ル・バーと組みかえ型ストラテジー—
 - 学習者の誤った知識をどう修正するか —ル・バー修正ストラテジーの研究—
 - ルール学習と操作的思考 —概観と展望— (他多数)

東北大学・カタールサイエンスキャンパス・キックオフ教育セミナー参加申込書

FAX送付先：022（795）5824

(ふりがな) 参 加 者 名			
所 属 校 名			
所属校電話番号			
所属校FAX番号			
メールアドレス			
担 当 学 年		担 当 教 科 (中 学 校)	
当日に質問したい 事項等があれば記入 してください。			

※ このA4サイズのまま、切り取らずに7月22日(火)までに送信してください。